

阪南TV(第5回 0618) 台本

コーナー名	
コーナー①	「はなていアクション ～阪南市行政サービス協働化制度～ について」 -約13分>
<p>12:00 (結果) 12:00-13:15</p> <p>出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下 (司会) ・石川 (ナビゲーター) ・辻野 (地域まちづくり支援課) <p>(準備するもの)</p> <p>一つ目→</p> <p>二つ目→</p> <p>三つ目→</p> <p>四つ目→</p> <p>そして最後に</p>	<p>(森下) : みなさんこんにちは。 「阪南TV (はんなんティービー)」の時間やってまいりました。 この番組の司会 FC大阪 応援マネージャーの石塚理奈さんの 代わりに務めます 阪南市 秘書広報課の 森下 です。</p> <p>(石川) : そして、本日のナビゲーターを務めます、阪南市 秘書広報課の石川 です。 どうぞ、よろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><拍手> (全員で拍手します)</p> <p>(森下) : この番組は、「阪南市役所 防災コミュニティセンター (阪南まもる館)」 から、生放送でお送りしています。</p> <p>(石川) : 毎月生放送の「阪南TV」では、いろんな切り口で阪南市の「魅力」、そして、 そこで活躍する「ヒト」の魅力を発信できたらと思っています。 最後まで、どうぞお楽しみください。</p> <p>(森下) : 石川さん、前回に引き続き ナビゲーター よろしくお祈いします。 それでは、本日のコンテンツのご紹介です。</p> <p>(石川) : 本日のコンテンツは、</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【フリップ】</p> <p>1 はなていアクション ～阪南市行政サービス協働化制度～ について</p> <p>2 そうだ！夏休みはボランティアをしよう！！</p> <p>3 いきいき百歳体操</p> <p>4 ヒューマンライツセミナーのご案内</p> <p>★イベントのご案内★ 7/7 (日) 尾崎駅元気出そうフェス 開催します！ です。</p> </div> <p>(森下) : 今日は、どんな「まちの魅力」・「ヒトの魅力」のご紹介になるか 楽しみです。 最後まで よろしくお祈いします。</p>

(森下) : それでは、1つ目「地域まちづくり支援課」からのお知らせです。

(石川) : 阪南市では、まちづくりの基本となる総合計画において、協働に関することを第1章に規定して、積極的に推進を図っています。

(森下) : 地域まちづくり支援課 課長代理の辻野さんにお越しいただいています。よろしくをお願いします。

(辻野) : 地域まちづくり支援課の辻野です。どうぞ、よろしくをお願いします。

<拍手> (全員で拍手します)

説明したいこと

(森下) : 地域まちづくり支援課では、今年度、はなていアクション～阪南市行政サービス協働化制度～を行うことになりました。どのようなものか、教えていただけますか。

辻野 : まず、阪南市が現在行っている、全ての事務事業の事業概要や、人件費も含んだ総事業費などの基礎データを公開します。

広く皆さんから、民間セクターの知恵とアイデアを活かした事業を提案していただきます。

ご提案いただいた事業が、市が実施するよりも「コスト」と「サービスの質」の両面で、効果がある と認められたときには、最大3年間の契約で、提案者の方に、市の事業を実施していただくことができるという制度です。

この事業は、SDGsの17のゴールのうち、

11番「住み続けられるまちづくりを」・

17番「パートナーシップで目標を達成しよう」 に該当しています。

(森下) : いつごろから、どのようなスケジュールで行うのですか。

画像1(スケジュール)PDF

画像のPDFを見ながら

辻野 : こちらをご覧ください。

募集期間は7月1日から8月30日になります。

まず、7月1日には、約400事業ある市の事務事業の基礎データを、阪南市のウェブサイトなどで公表いたします。

皆様は、その事業一覧をご覧になり、自分たちの知恵や能力が生かせる提案をしたいと思う事業について、事業の詳細や、現在、市が抱えている課題や

皆様が実施できる内容がどのような効果があるのかなどについて、その事業を担当している課と事前協議を行います。

その中で、皆様の独自性が有るアイデアを提案いただき、提案書を作成していただきます。

その後、ご提案の内容について、契約に関する審査、事業内容の審査会を行います。

提案がコストとサービスの質の両面から市に効果のある場合には、事業に必要な所要額を次年度の予算として確保し、令和2年度に市の事業を担っていただくこととなります。

(森下)：募集する提案内容は、どのようなものですか。

画像 2 (提案事業) PDF

画像のPDFを見ながら

辻野：まず、言えることは、現行の事務事業の費用を削減して、そのまま引き受ける委託先を募集する制度ではなく、民間の皆様の知恵と工夫による、新たな提案が入っていることが必要です。

また、事業の一部を担ってもらうことも可能ですし、複数の事業を合わせて提案することもできます。

(森下)：応募者は、阪南市内の人に限られますか。

辻野：市内・市外を問わずご応募いただけます。

しかし、審査のポイントにおいて、雇用創出など市内経済への波及効果や地域の活性化につながることを求めています。

阪南市外の事業者の方が提案する場合は、阪南市内への波及効果について、盛り込んでいただいた方がいいと思います。

(森下)：審査ポイント というお話がありました。

少し詳しく 説明してください。

画像 3 (審査のポイント) PDF

画像のPDFを見ながら

辻野：審査項目は合計5項目で、その中に細かく10個の審査のポイントを用意しています。この審査のポイント全てを満たすことが条件となります。

審査のポイントを、いくつか申し上げますと、先ほどの「市内経済への波及効果」のほかに「市が実施するより質の高いサービスが提供でき、市民サービスの向上につながるか」や「提案に提案者の独自のアイデア、工夫が盛り込まれているか」や「事務事業のコスト抑制につながるか」などがあります。

この項目については、阪南市ウェブサイト等での「はなていアクション～阪南市行政サービス協働化制度～実施要領」に記載していますので、提案の前

には必ず、ご確認ください。

(森下)：4月は「市民協働事業提案制度」、先月5月は「はんなん共創事業プランコンペ」、そして今月は「はなていアクション～阪南市行政サービス協働化制度～」と、地域まちづくり支援課からのご案内が3回続きましたが、それぞれの事業の違いなどを、説明していただけますか。

辻野：まず、4月にご説明した市民協働事業提案制度と今回のはなていアクションの違いですが、こちらをご覧ください。

[画像 4 \(制度の守備範囲の違い\) PDF](#)

[画像のPDFを見ながら](#)

辻野：阪南市が行っている事業は、公共サービスという枠の中で、市役所が行う事業というものがあります。公共サービスは、このほかに都道府県や国などが行っているものもあります。

今回ご案内している「はなていアクション」は、この阪南市が行っている事業について、新たな提案を行い、事業を担うものになります。対して、市民協働事業提案制度の提案は、市と市民公益活動団体が協働して事業を実施することにより、お互いに効果のある事業を提案いただくこととなっていますので、公共サービスの範囲外のものや公共サービスの範囲の中ではあるが市が行っている事業以外のものも含まれます。

また、先月ご案内しました「はんなん共創事業プランコンペ」は、事業の実施主体や協働の相手方を市ということに限定せず、地域において、このようなサービスや事業などがあればいいなと思っているアイデアについて、ご提案いただきその提案や審査にいたる過程で、その事業をブラッシュアップし、実際に事業として実施できるように「市民活動センター夢プラザ」などが伴走型支援していくものです。

こちらの事業は、地域の困りごとをソーシャルビジネスやコミュニティビジネスといった視点から解決することや、企業と地域の協働など市民社会の形成に必要な事業を実施していくため、伴走型支援行うものです。

(石川)：今回は、事業の担当課ごとに担当者を決めて、はなていアクションの相談を受けることになっていますが、どのような仕組みになっていますか。

[画像 5 \(各課担当者一覧\) PDF](#)

[画像のPDFを見ながら](#)

辻野：今回は、事業の担当課から2名が、はなていアクションの担当者になります。

要領の中で、各担当課への問合せ窓口をご案内しています。

このはなていアクションでは、市職員と提案者において、事前協議の中で正確な現状把握と課題抽出を行い、事業の提案をよりよいものにしてもらうことが重要と考えています。

基礎データで皆さんの得意分野の事業を抽出いただき、興味を持った事業担当課の担当者に連絡をし、協議を十分に行うこととなります。そのため、担当課を代表する担当者として、各課2名を配置しています。

(森下)：興味を持った事業や、その事業のことでわからないというときは、直接、担当者の皆さんに連絡すればいいですね。

辻野：はい。そうですね。ただし、「市が事業を行っていることは確かだが、どの事業に該当するのかわからない。」とか、「複数の担当課にまたがっているので、どこに連絡すればよいのか迷う。」ということもあると思います。そのときは、地域まちづくり支援課までご連絡をお願いします。担当課をコーディネートさせていただきます。

(森下)：では、何か疑問や質問があった場合は、地域まちづくり支援課にきけばよいということですね？

辻野：はい。はなていアクションに少しでも興味をお持ちになられた方は、ぜひともご連絡をいただければと思います。皆様のご連絡をお待ちしています。

(森下)：地域まちづくり支援課 辻野さん ありがとうございました。

(辻野)：ありがとうございました。

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（全編） 1分30秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=l2UY8lVziLw&t=15s>)

コーナー名											
コーナー②	＜「そうだ！夏休みはボランティアをしよう！！」 -約10分-＞										
<p>12:16</p> <p>出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下 (司会) ・石川 (ナビゲーター) ・坂上 (社協) ・岡本 (社協) 		<p>(森下)：それでは次に、「阪南市社会福祉協議会」からのお知らせです。</p> <p>(石川)：阪南市社会福祉協議会では、夏休み限定で学生にボランティア活動にふれてもらうための「夏休みボランティア DAY」を企画されています。</p> <p>(森下)：阪南市社会福祉協議会の坂上さん、岡本さん よろしくお祈いします。</p> <p>(坂上)：阪南市社会福祉協議会の坂上です。どうぞ、よろしくお祈いします。</p> <p>(岡本)：岡本です。どうぞ、よろしくお祈いします。</p> <p style="text-align: center;">＜拍 手＞ (全員で拍手します)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">説明したいこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(森下)：阪南市社会福祉協議会で行っている、夏休みボランティア DAY はどのような目的で実施されている事業ですか？</td> </tr> <tr> <td>(坂上)：若い年代から福祉、ボランティアに関心を持ってもらい、様々な人々とふれあうことで、心豊かな大人に育っていただきたいという想いで実施しています。</td> </tr> <tr> <td>(石川)：この事業は、SDGs の17のゴールのうち、 3番「すべての人に健康と福祉を」・ 4番「質の高い教育をみんなに」 に該当しています。</td> </tr> <tr> <td>(森下)：どのような内容か、教えていただけますか。</td> </tr> <tr> <td>(坂上)：今年で11年目に突入するこの事業は、毎年10代～20代の若者のボランティアグループ「smile」と社会福祉協議会が一緒に企画しています。</td> </tr> <tr> <td>画像 1.smile の写真</td> </tr> <tr> <td>画像 2.smile の写真</td> </tr> <tr> <td>(石川)：(驚いた様子で)10年も続いていたんですね。「smile」のみなさんの表情がイキイキしていますね。でも、活動するのは、夏休みなどの長期休暇限定とか、比較的時間に余裕のある学生さんだけになってしまうのでしょうか。</td> </tr> </tbody> </table>	説明したいこと	(森下)：阪南市社会福祉協議会で行っている、夏休みボランティア DAY はどのような目的で実施されている事業ですか？	(坂上)：若い年代から福祉、ボランティアに関心を持ってもらい、様々な人々とふれあうことで、心豊かな大人に育っていただきたいという想いで実施しています。	(石川)：この事業は、SDGs の17のゴールのうち、 3番「すべての人に健康と福祉を」 ・ 4番「質の高い教育をみんなに」 に該当しています。	(森下)：どのような内容か、教えていただけますか。	(坂上)：今年で11年目に突入するこの事業は、毎年10代～20代の若者のボランティアグループ「smile」と社会福祉協議会が一緒に企画しています。	画像 1.smile の写真	画像 2.smile の写真	(石川)：(驚いた様子で)10年も続いていたんですね。「smile」のみなさんの表情がイキイキしていますね。でも、活動するのは、夏休みなどの長期休暇限定とか、比較的時間に余裕のある学生さんだけになってしまうのでしょうか。
説明したいこと											
(森下)：阪南市社会福祉協議会で行っている、夏休みボランティア DAY はどのような目的で実施されている事業ですか？											
(坂上)：若い年代から福祉、ボランティアに関心を持ってもらい、様々な人々とふれあうことで、心豊かな大人に育っていただきたいという想いで実施しています。											
(石川)：この事業は、SDGs の17のゴールのうち、 3番「すべての人に健康と福祉を」 ・ 4番「質の高い教育をみんなに」 に該当しています。											
(森下)：どのような内容か、教えていただけますか。											
(坂上)：今年で11年目に突入するこの事業は、毎年10代～20代の若者のボランティアグループ「smile」と社会福祉協議会が一緒に企画しています。											
画像 1.smile の写真											
画像 2.smile の写真											
(石川)：(驚いた様子で)10年も続いていたんですね。「smile」のみなさんの表情がイキイキしていますね。でも、活動するのは、夏休みなどの長期休暇限定とか、比較的時間に余裕のある学生さんだけになってしまうのでしょうか。											

(坂上)：いえいえ、そんなことはありませんよ。

「smile」は小学生から大学生、社会人が活動しているグループで、1年をとおしてボランティア活動をされています。

活動も「smile」のペースでおこなっていますので、部活やアルバイトをしながら空いた時間にボランティア活動をしています。

(森下)：「smile」は、普段どのようなボランティア活動をされていますか？

(坂上)：毎月一回メンバー同士で集まり、ボランティア活動を企画しています。また、子ども達との交流、まちの清掃など様々な活動にも参加しています。企画の一つでもある、夏休みボランティア DAY は、「smile」が子どもや地域の方々と交流して楽しかった経験や、ボランティアの面白さを知った経験をとおして学生のために企画したプログラムなので、とても魅力的なものとなっており、今年は10のプログラムを企画してくれています。

(森下)：自分達でボランティアを企画するから、より活動も楽しいのでしょうか。

(坂上)：そうですね。その夏休みボランティア DAY の様子は、写真を使ってご紹介しますのでご覧ください。

※写真をもとに代表的なプログラムを昨年度の写真をもとに紹介

画像3.夏ボラ写真

画像を見ながら

(坂上)：地域の子供達とスライムづくりなどでふれあいながら一緒にあそんでいる様子です。

画像4.夏ボラ写真

画像を見ながら

(坂上)：これは、地域の流しそうめんのお祭りをお手伝いしている様子です。

画像5.夏ボラ写真

画像を見ながら

(坂上)：この活動では、一時保育のボランティア活動をとおして、命の大切さを学んでいます。

(森下)：すごくたくさんプログラムがあるんですね。

画像6.夏ボラ写真

画像を見ながら

(坂上)：そうなんです。他にも地域のまちなかサロン・カフェに参加して交流した

りもしています。

画像7.夏ボラ写真

画像を見ながら

(坂上)：これは、民生委員活動を体験している様子です。

画像8.夏ボラ写真

(坂上)：プログラムの最終日は、各プログラムの振り返りをおこなって学生が学んだことや、内容を模造紙に書いて発表します。

発表を聞いていると、ボランティア体験をする前は、「自分には遠い存在で大人がするもの」と感じていた学生も「ボランティアはみんなと協力し、たくさんの人を笑顔にすること。相手だけではなく自分も笑顔になれる活動」といったようにボランティア活動が身近に感じ、自分のためにもなるといった価値観の変化がみられます。

(森下)：楽しそうなプログラムですね。

参加できるのは、中学生くらいからですか？

(坂上)：学生さんは小学校5年生～大学生、専門学校生までの方が参加できます。また、学生のみなさんもそうですが、保護者の方や学校の先生等興味のある方でしたら、どなたでも参加できます。ぜひ、お子さんと一緒に活動していただければと思います。

(森下)：小学校5年生から申し込めるんですね。その頃になると、学校の中でも、下の学年のまとめ役を任されるようになってきますよね。

どのように申し込みしたら良いですか？

画像9. 申込案内2枚(PDF)

(坂上)：阪南市の各小中学校の生徒さんは、先生方のご協力のもとチラシを配っていただきます。チラシには申込書がついていますので、切り取っていただき各学校に設置している、申し込み受付箱に投函してください。

申込の締切は7月12日とさせていただきます。

また、チラシは阪南市社会福祉協議会のホームページからもご覧いただけます。

阪南市外に住んでいる方も参加できますので、ホームページのご案内を確認してください。

(森下)：ボランティア活動も夏休みで終わってしまってもったいないですよ。引き続き「ボランティア活動をしたい！」となったら、どうしたら良いのですか？

(坂上)：ボランティア活動に興味をもったのがきっかけで、そのあと「smile」に

	<p>はいつて、活動している学生さんも多いです。 年齢もまちまちなので、「smile」で活動しながら、自然とお互いにふれあっている、そんな集まりです。 本日、smile メンバーは学校に行っているため、出演できませんでしたが、普段から前向きで、とてもやさしい子ばかりです。 「smile」の活動やボランティアに興味をもったら、ぜひ阪南市社会福祉協議会までご連絡ください。電話番号は072-429-9882で、事務所は阪南市地域交流館の1階にあります。</p> <p>(森下)：若いチカラでどんどん阪南市を盛り上げてほしいですね。 ほかに、何か伝えておきたいことはありますか。</p> <p>(岡本)：ボランティア活動はやってみるとすごく楽しいです。夏休みは、ぜひボランティア活動を試してみませんか？ みなさんの参加をお待ちしております。</p> <p>(森下)：本日は、阪南市社会福祉協議会の坂上さん、岡本さん ありがとうございました。</p> <p>(坂上・岡本)：ありがとうございました。</p>
--	--

CM 「G20 大阪サミット警備にご協力を 37秒×1回 37秒」(添付)
(https://www.youtube.com/watch?v=FAsi05_zdll)

CM 「阪南市シティプロモーションムービー(子育て編) 52秒」(添付)
(<https://www.youtube.com/watch?v=96FMXC-BmTo>)

コーナー名	
コーナー③<「いきいき百歳体操」 -約 18分->	
<p>12:28</p> <p>(出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下(司会) ・石川(ナビゲーター) ・大宅(介護保険課) ・小林(介護保険課) ・林(やまびこ) <p>用意するもの</p> <p>錘(おもり)</p>	<p>(森下)：続いてのコーナーは、「介護保険課」からのお知らせです。健康部介護保険課の大宅(おおたく)さん、小林さんにお越しいただいています。よろしくお願ひします。</p> <p>(大宅・小林)：介護保険課の大宅です。小林です。</p> <p style="text-align: center;">どうぞ、よろしくお願ひします。</p> <p style="text-align: center; background-color: yellow;"><拍手>(全員で拍手します)</p> <p>(石川)：介護保険課の主な業務について、説明していただけますか。</p> <p>(大宅)：皆さんは、介護保険課の仕事は介護保険の申請のことが主な業務だと思われる方が多いのではないのでしょうか。介護保険課は主に保険料のこと、介護認定のこと、地域ケア推進のものと主に3つの業務があります。今回は、地域ケア推進の業務である「いきいき百歳体操」についてご紹介します。</p> <p>(石川)：介護保険課の事業は、SDGs(エスディーゼズ)17の目標のどれに結びついていますか。</p> <p>(大宅)：はい、3番の「すべての人に健康と福祉を」、11番の「住み続けられるまちづくりを」の二つに当てはまります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">説明したいこと</p> <p>(森下)：ところで、「いきいき百歳体操」は、どういう体操のことですか。</p> <p>(大宅)：「いきいき百歳体操」とは、概ね65歳以上の市民さんがグループをつくり、主体性を持って行う、「筋力アップ体操」のことです。</p> <p>(森下)：もう少し具体的に説明していただけますか。</p> <p>(大宅)：体操は、腕や足に錘(おもり)を付けて、DVDの映像に合わせて行います。安全に、無理なく体操できるよう、主に椅子に座って行います。</p> <p>(森下)：これから「体操」をはじめたい方は、どうすればよいのですか？</p> </div>

(大宅)：「いきいき百歳体操」はじめたい方は、4人以上のお友達や仲間を集めていただき、介護保険課にご相談ください。「体操する場所」、「DVDを見ることができる環境」、そして「いす」の準備が必要です。介護保険課の職員が4回行って、皆さんが集まって「体操する日時」に、「いきいき百歳体操」について、説明をさせていただきます。

(森下)：ということは、最初のうちは、介護保険課の職員さんが説明にきてくれて、慣れたら、自分たちだけでも手軽にできる ということでしょうか。

(大宅)：そうなんです。簡単にいいますと、介護保険課は、グループの立ち上げのときに、お手伝いさせていただく というイメージです。

「いきいき百歳体操」は、DVDをお手本にして行きますので、はじめての方でも大丈夫です。私たち介護保険課の職員が、体操を支援するのは、合計4回です。

4回続けると、皆さん百歳体操に慣れてきますので、あとは、ご自分たちだけで、毎週体操を行っていきます。

グループに対する支援としては3か月、6か月と定期的に体力測定に行かせてもらいます。その後もグループが継続する限りは、介護保険課の職員が、6か月毎に体力測定にお伺いします。

(森下)：どれくらいの年齢の方が多いのですか。

(大宅)：70代～80代の方が多いです。体操の強度としましては75歳以上の方でもはじめていただけます。ここで一度、体操の様子を見ていただきましょう。

映像1 いきいき百歳体操の画像(0分41秒)

映像を見ながら

(大宅)：こちらの体操は、黒田の住民センターで行われています。グループ名はあじさいです。2年継続しているグループです。

映像2 いきいき百歳体操の画像(0分49秒)

映像を見ながら

(大宅)：こちらは、石田の住民センターで行っている、「アップル」の体操風景です。このグループも、2年続いています。

(大宅)：これらのグループは、「いきいき百歳体操」をしたあとに、毎月ランチに行ったり、茶話会をしたり、とっても仲のよいグループです。

「いきいき百歳体操」を通して、お仲間づくりが出来ているようですね。

映像3 いきいき百歳体操の映像（0分35秒）**映像を見ながら**

(大宅)：この映像は、最近立ち上がった、「山中溪のさくらグループ」です。
皆さん、自宅から10分以内で行けるので、「通いの場づくり」にもなっています。

映像4 いきいき百歳体操の映像（0分35秒）**映像を見ながら**

(大宅)：この男性の方は90代の方ですが、頑張って通って来られています。

(森下)：そうなんですね。定期的に体操に行くことで、体調がよくなったり、体操に行くことが習慣になって、生活のメリハリが出てきますよね。
お友達や体操で知り合った方とおしゃべりが楽しみで、体操に通っていたら、自然と筋力アップしていたという方も多いのかもしれませんがね。
この腕に付けているのが錘（おもり）ですか。

(小林)：そうですね。これが、実際に使っている錘（おもり）です。

実際に実物をみせながら

(実際に森下に見ていただく)

森下)：**※アドリブでお願いします。**

(小林)：このバンドの中に、200グラムの錘（おもり）を6本まで入れることができます。同じ体操でも、錘（おもり）して負荷をかけることで筋力アップができるんですよ。

「いくつになっても、筋力アップはできる」というデータが、実際にあります。「いきいき百歳体操」も、「筋力アップして、10歳若返り」をめざしています。

(石川)：そうですね。阪南市では、「10歳若返ろう！」をテーマに、様々な健康づくりや介護予防事業の取組を始めています。

(小林)：実際に週に1回、通いの場に参加することで、生活に張り合いが出てきて、若々しく、行動的になってきている方が多いです。

(森下)：「いきいき百歳体操」は、どのような効果がありますか？

おもりを石川経由
で、森下まで渡す。

(小林)：そうですね。5種目の体力測定をおこなっていますが、参加率が高い方は、結果が良いという傾向にあります。
皆さんからは、椅子から立ち上がる時、布団から起き上がる時、ラクになった。腰痛がなくなった。といったお声を頂戴しています。

(森下)：喜びの声ですね。自ら効果を感じられるって、とっても嬉しいですね。

(小林)：はい。私たちも嬉しくなります。

ここで、今年の1月から阪南市の住金住民センターで、「いきいき百歳体操」を始められた「やまびこグループの林さん」に、約半年続けたの感想をいただきたいと思います。

林さん自己紹介

(林さん)：こんにちは。やまびこグループの林です。

私たちのグループは、いつも20人くらい参加しています。

参加している皆さんと「百歳体操はいいね」って話をしています。

体が楽になった。動きやすくなった。と言う声も聞かれます。体操の後、ボールを使ってレクリエーションしたり、いろいろ楽しんでます。他のお友達にも「百歳体操」のことを話したら、別の地区で1グループ立ち上がりました。

(森下)：市民さんの実際の声は、影響力がありますね。

(林さん)：地域の皆さんにも、「良いことをはじめてくれた。」と感謝していただいています。ずっと続けて、長く健康でいたいです。

(森下)：すごいですね。林さんは、はつらつとしておられますね。

(林さん)：「いきいき百歳体操」の他にも、体操に通っていますし、趣味で絵がみを教えています。

(森下)：本当に活動的ですね。皆さんが林さんみたいにお元気になれば良いですね。

(石川)：そうですね。ところで、小林さん、「いきいき百歳体操」のグループは、どれくらいの数になりましたか。

(小林)：阪南市内に、20グループあります。そのうち、2年以上継続しているところが6グループあります。皆さんにとって、「身近な通いの場」としても、もっと増やせて行けたらと思っています。

(石川)：人数はどれくらいでしたか。

(小林)：約300人いらっしゃいます。

(森下)：そうなんですね。

「いきいき百歳」は、どんなことを目標としていますか。

(小林)：はい、2025年、今から6年後には、阪南市が「百歳体操」を始めてから10年になります。

その頃までに、阪南市の高齢者人口の1割、つまり約1500人が「いきいき体操」に取り組んでいただけるように広めていきたいですね。

グループの数でいうなら、50グループをめざしています。

阪南市に、元気な高齢者を、どんどん増やしていけたらと思っています。

(森下)：「市民の皆さんが主体となって、続いている」ところが、とてもイイですね。

「いきいき百歳体操」が、もっともっと広まってくると良いですね。

(小林)：はい。「近くのグループを教えてほしい。」など、お気軽に介護保険課までお問合せください。

「百歳体操」に興味を持たれた皆さん、ぜひ「10歳若返りましょう！」

(森下)：林さん、これからも「百歳体操」楽しんで続けてくださいね。

みなさん、本日はご紹介ありがとうございました。

(林さん、大宅、小林)：ありがとうございました。

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（観光編） 45秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=B6a76Dhpgsw>)

CM 「G20 大阪サミット警備にご協力を 37秒×1回 37秒」（添付）

(https://www.youtube.com/watch?v=FAsi05_zdll)

コーナー名			
コーナー④<「ヒューマンライツセミナーのご案内」 -約 11 分->			
<p>12:48</p> <p>出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下 (司会) ・石川 (ナビゲーター) ・山本浩 (市 (人権推進課) ・田中 (市 (人権推進課) 	<p>(森下) : 続いてのコーナーは「人権推進課」からのお知らせです。 総務部人権推進課 の 山本さん、田中さんにお越しいただいています。 よろしくお願いします。</p> <p>(山本) : 人権推進課の山本です。どうぞ、よろしくお願いします。</p> <p>(田中) : 田中です。どうぞ、よろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><拍手> (全員で拍手します)</p> <p>(石川) : 阪南市では、毎年7月から8月、9月にかけて、「ヒューマンライツセミナー」を開催しています。市民の皆さん、学校関係者、市の職員など、たくさんの方が出席しています。私も職員研修で毎年、受講しています。</p> <p>(山本) : この「ヒューマンライツセミナー」は、市民の皆さんに、偏見や差別、様々な人権問題に気づき、人権意識を高めるため、市や教育委員会、阪南市人権協会、岸和田人権擁護委員協議会阪南市地区委員会の共催で、人権啓発講座、ヒューマンライツセミナーを開催していきまして、毎年、たくさんの方に楽しみにしていただいています。セミナーのテーマにもよりますが、SDGs (エスディーゼズ) の17のゴールでいうと、 3番の「すべての人に健康と福祉を」、 4番の「質の高い教育をみんなに」、 5番の「ジェンダー平等を実現しよう」 などに当てはまります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">説明したいこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>(山本) : 「ヒューマンライツ」を日本語で言いますと「人権」、セミナーは「講演会」、「ヒューマンライツセミナー」は人権啓発のための講演会ということです。</p> <p>(森下) : 「人権」って聞くと、なんだかかたい難しいイメージがありますよね。</p> <p>(山本) : そうですね。「人権」を辞書で調べてみると、「誰もが生まれながらにして持っている、人間として幸せに生きていくための権利」となっています。私たち一人ひとりにとってかけがえのない大切なもので、人が生きていくうえで無縁でいられないものでもあります。</p> <p>(森下) : 「人権」って身近で大切なものなのですね。私たちのまわりには、どのような「人権問題」がありますか。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	説明したいこと	<p>(山本) : 「ヒューマンライツ」を日本語で言いますと「人権」、セミナーは「講演会」、「ヒューマンライツセミナー」は人権啓発のための講演会ということです。</p> <p>(森下) : 「人権」って聞くと、なんだかかたい難しいイメージがありますよね。</p> <p>(山本) : そうですね。「人権」を辞書で調べてみると、「誰もが生まれながらにして持っている、人間として幸せに生きていくための権利」となっています。私たち一人ひとりにとってかけがえのない大切なもので、人が生きていくうえで無縁でいられないものでもあります。</p> <p>(森下) : 「人権」って身近で大切なものなのですね。私たちのまわりには、どのような「人権問題」がありますか。</p>
説明したいこと			
<p>(山本) : 「ヒューマンライツ」を日本語で言いますと「人権」、セミナーは「講演会」、「ヒューマンライツセミナー」は人権啓発のための講演会ということです。</p> <p>(森下) : 「人権」って聞くと、なんだかかたい難しいイメージがありますよね。</p> <p>(山本) : そうですね。「人権」を辞書で調べてみると、「誰もが生まれながらにして持っている、人間として幸せに生きていくための権利」となっています。私たち一人ひとりにとってかけがえのない大切なもので、人が生きていくうえで無縁でいられないものでもあります。</p> <p>(森下) : 「人権」って身近で大切なものなのですね。私たちのまわりには、どのような「人権問題」がありますか。</p>			

(山本)：例えば、女性や子ども、障がい者、高齢者、性的マイノリティ、同和問題、最近ではインターネットによる人権侵害など、さまざまな「人権問題」が存在します。

(石川)：そのような、さまざまな人権問題を正しく理解し、一人ひとりが自らの問題として取り組めるよう、ヒューマンライツセミナーなどの啓発事業があるわけですね。

では、今年のヒューマンライツセミナーはいつ実施されるのですか。

画像 1 ヒューマンライツセミナー2019 (第 1 回・第 3 回)

(田中)：今年度は7月から8月にかけて4回開催します。

まず、第1回は7月22日(月)午後2時から「スマホ時代の子どもとおとな～本当にこわい個人情報流出、人権侵害など～」と題して、兵庫県立大学准教授の竹内和雄さんにご講演いただきます。

こちらは、SDGs (エスディーゼーズ) の17の目標のうち、**4番の「質の高い教育をみんなに」** につながるお話です。

(石川)：今はスマホなどで簡単に世界中とつながる環境になっていますもんね。

(山本)：そうです。便利になった分、ネット依存、ネットいじめ、人権侵害など、子どもとネットの問題がマスコミにより連日報道されています。今回の講演では、子どもたちのネット使用の現状から、大人としてどういう対策が必要かについて考える機会にしたいと思います。

(石川)：他の回は、どのような内容ですか。

(田中)：7月30日(火)午後1時30分からは、「僕とベビー・ヴァギー～性は虹色バリエーション～」と題して、MC兼タレントのベビー・ヴァギーさんのお話をうかがいます。

SDGs (エスディーゼーズ) の17の目標のうちでは、**5番の「ジェンダー平等を実現しよう」** につながるお話ですね。

(石川)：最近よく耳にする、LGBTQについてですね。何となくわかった気になっていますが、実際にお話を聞いてみると理解が深まりそうですね。

(山本)：性自認、性的指向など、セクシャルマイノリティ (LGBTQ) という、つい固くなりがちなテーマですが、いちゲイであり、ドラッグクイーンである『僕』と『ベビー・ヴァギー』の視点から、笑いを交えつつお話していただきます。是非肩の力を抜いてお越しください。

(森下) : 笑いのある楽しいセミナーになりそうですね。

(石川) : 今回のセミナーにも、映画上映の回がありますよね。

画像2 ヒューマンライツセミナー2019 (第2回)

(田中) : はい。日が遡るのですが、7月23日(火)午後1時30分からは「ペコロスの母に会いに行く」という映画を上映いたします。

深刻な社会問題として語られがちな介護や認知症について、作者の体験をもとに描かれた、笑いと涙にあふれたふれあいをつづった介護喜劇映画です。

こちらは、SDGs (エスディーゼーズ) の17の目標のうち、**3番の「すべての人に健康と福祉を」** につながるお話です。

(石川) : もともとは認知症の母との何気ない日常を描いたエッセイ漫画で、その漫画が映画化されたものですよね。話題になった映画ですので楽しみです。

(山本) : はい、ありがとうございます。次に、最後第4回のセミナーです。

画像3 ヒューマンライツセミナー2019 (第4回)

(田中) : 第4回は、8月20日(火)午後1時30分から「毎日がおもしろい! 発達障がいの私と子どもたちが日々笑顔のコツ」と題して、一般社団法人 Unbalance 代表理事の元村祐子さんにお話をいただきます。

元村さんご自身と3人のお子さんたちも発達障がいの診断を受けられています。発達障がいってどんな特性なのか、困っていること、自己紹介や具体例を挙げながら正しく、楽しく、発達障がいについて知っていただける機会になると思います。

こちらは、SDGs (エスディーゼーズ) の17の目標のうち、**4番の「質の高い教育をみんなに」** につながるお話です。

(森下) : 全4回ともすごく興味深いテーマですね。ネットによる人権侵害、性的マイノリティ、介護の問題、発達障がいと、今世間で話題になっているテーマを取り上げているんですね、

(石川) : ヒューマンライツセミナーはどこで開催するのですか。

(田中) : 全4回とも阪南市立文化センター、サラダホールの小ホールで開催します。

(石川) : 開催時間は、どうでしょう。

(田中) : 開催時間は、第1回目の7月22日(月)に開催する「スマホ時代の子

どもとおとな・・・」の講演は午後 2 時からです。それ以外の、第 2 回目の映画上映や第 3 回、第 4 回のセミナーは午後 1 時 30 分からです。

お間違いのないようにお願いします。

(森下)：その他、開催にあたって配慮されていることなどはありますか。

(田中)：映画については、日本語字幕、講演の際の手話通訳、資料がある場合は資料の点訳もご用意しています。また、1 歳 6 か月から小学校 3 年生までのお子さんに限るのですが、一時保育も行いますのでご希望の方は、各講座の一週間前までにご連絡ください。入場は無料ですので、是非皆さん参加していただきたいと思います、

(森下)：最後に、何かお伝えしたいことはありますか。

(山本)：どの回も肩の力を抜いて、気軽に聞いていただける内容になっています。入場無料ですので、是非皆さんお誘いあわせの上、お越しになってください。

(森下)：今日は、人権推進課 山本さん、田中さん、ありがとうございました。

(山本・田中)：ありがとうございました。

CM 「G20 大阪サミット警備にご協力を 37 秒×1 回 37 秒」(添付)

(https://www.youtube.com/watch?v=FAsiO5_zdII)

CM 「阪南市シティプロモーションムービー(子育て編) 5 2 秒」(添付)

(<https://www.youtube.com/watch?v=96FMXC-BmTo>)

コーナー名	
★紹介コーナー★ <7/7（日）尾崎駅元気出そうフェス 開催します！-約10分->	
<p>13:02-13:15</p> <p>出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下（司会） ・石川（ナビゲーター） ・奥野会長 ・出口事務局長（阪南市商工会） 	<p>(石川)：次は、★紹介コーナー★です。 森下さん、新しくなった「尾崎駅」を利用しましたか。</p> <p>(森下)：もちろんです。改札口のところも、全体的に明るくなりましたね。 ※アドリブでお願いします。</p> <p>(石川)：阪南市は、難波から和歌山市に向かう海側の南海線と、天王寺から和歌山方面につながるJR阪和線 2種類の鉄道が走っています。 今回は、南海線の「尾崎駅」と「市役所」周辺でのイベントについてのご案内です。</p> <p>阪南市商工会 奥野（オクノ）会長・出口（テグチ）事務局長にお越しいただきました。 よろしくをお願いします。</p> <p>(商工会)：どうぞ、よろしくをお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><拍手>（全員で拍手します）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">説明したいこと</p> <p>(森下)：7月7日（日曜日）に開催される、『尾崎駅元気出そうフェス』このイベントを行うこととなったきっかけは何ですか？</p> <p>(奥野会長)：はい。昨年9月に台風21号が接近したとき、阪南市を含む近隣の市や町の広い範囲で、停電や断水などが起きました。 強風の影響で、電柱や木が倒れて道をふさいだり、屋根瓦が吹き飛んだ家など、多くの被害が出ました。 その台風21号の影響で、「尾崎駅」の駅舎が全焼してしまったんですが、半年以上かかって、ようやく、この4月に全面復旧を果たしました。</p> <p>市役所や施設、市民病院に近い「尾崎駅」は、「阪南市」の玄関口。通勤・通学だけでなく、たくさんの方が利用されています。 そこで、尾崎駅と阪南市のさらなる活性化、にぎわい創出をめざそうと、『尾崎駅元気出そうフェス』を開催する運びとなりました。 このイベントは、尾崎駅元気出そうプロジェクト実行委員会が中心となり、阪南市商工会や南海電気鉄道(株)さんとプロジェクトをすすめて</p> </div>

まいりました。

(石川) : 駅名の「尾崎」と「阪南市」が、なかなか結びつかない方も多いようです。明るい話題を提供して、もっともっと「阪南市」を知っていただけるよう、私たち「阪南市」も、このイベントに協力しています。

SDGsに当てはめると、17番「パートナーシップで目標を達成しよう」のゴールに向けた取組ですね。

(森下) : 尾崎駅の完全復旧は、本当に喜ばしいことですね。
このイベントをきっかけに、ますます「尾崎駅」そして「阪南市」が活気づいてほしいですね。
ところで、今回のイベントはどんな内容になりますか。

画像 1 (ポスター)

画像を見ながら

(出口局長) : 阪南市役所の周辺で、地ものを含む大物産展やうまいもん市、抽選会やビンゴ大会 など 盛りだくさんのイベントです。
また、阪南市ふるさと大使「たむら けんじ」さん を特別ゲストにお呼びしています。
阪南市をよく知る「たむけん」さんには、イベントを盛り上げていただきます！

(森下) : 「たむら けんじ」さん も来られるなんて、ほんとに楽しみです！
イベントのもう一つのお楽しみ、お買い得品やグルメ。
大物産展や阪南うまいもん市は、どんな感じですか。

(出口局長) : 今回のイベントは、市内一丸となって盛り上げていこうとしています。
そのため、約50社もの事業者がブースの出店を予定しています。
大物産展では、地元食材を販売します。
阪南うまいもん市では、泉だこを使った「おかき」や「コロッケ」、阪南市の地酒「浪花正宗」など、阪南市の美味しいものが勢ぞろいします。
ぜひ、この機会に食べに来てください！

(森下) : 阪南市のうまいもんが勢ぞろいですか！これは見逃せないですね。あと、ラピートが尾崎駅に停まるとお伺いしましたが、本当ですか！？

画像 2 (ラピート)

画像を見ながら

(出口局長) : そうなんですよ。

南海電気鉄道㈱にご協力いただき、ラピートの臨時運行をしていただ

きます。

9：16に難波を出発し、10時19分に尾崎駅に到着します。

尾崎駅には、30分ほど尾崎駅に停車します。

通常、ラピートは関西空港に向かいますから、尾崎駅構内にラピートが来ること、またそこで、通常運行中のサザンが並ぶところを見られるのは、この『尾崎駅元気出そうフェス』限定です。

また、この日は阪南市ふるさと大使の「たむら けんじ」さんが一日駅長に就任されるなど、内容の濃いイベントになっています。

(石川)：(びっくりした様子で)ラピートが尾崎駅に停まるなんてすごい企画ですよ！鉄道ファンでなくても、尾崎駅に行きたくなりますね。たくさんの方が来られると思いますので、どなたも、現場の指示に従って、安全に楽しく過ごせるよう、ご協力ください。

また、阪南市立文化センター（サラダホール）では、毎年恒例の「七夕コンサート」のほか、10時～13時まで「リサイクルブックつながり」の臨時営業が予定されています。こちらもお楽しみください。

(森下)：最後に、視聴者の皆さんへ一言お願いします。

(出口局長)：7月7日（日曜日）は、ラピートが尾崎駅にとまったり、阪南市のうまいもんが集結したり、ステージイベントやふるさと大使の「たむらけんじ」さんにお越しいただいたりイベント目白押しです。ご家族・ご友人とお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください！

(石川)：阪南市商工会 奥野会長・出口事務局長 本日はありがとうございました。

(商工会)：ありがとうございました。

※ 申し訳ありませんが、エンディングまで そのまま座っててください。

(石川)：次回の放送は、7月16日（火）正午 の予定です。

<まとめ>

(森下)：今流れている番組は、放送終了後もアーカイブとしてご覧いただけます。ぜひ、ご覧ください。

本日も長時間視聴いただき、ありがとうございました。

それでは みなさん さよーならー